Webプログラミング及び演習レポート１

K19093　福本光重

* 設計のコンセプト

スケジュールの登録、更新、削除、検索ができるスケジュール管理システム。管理システムを利用するためには、定められたIDとパスワードを入力してログインをする。なお、スケジュールは、「内容」「場所」「開始日時」「終了日時」を登録できる。

* データベースのテーブルとリレーション

データベース名：schedule

テーブル名：scdata

テーブル

自動的に生成された説明

名前 データ型 長さ インデックス A\_I

id INT PRIMARY On

content(内容) VARCHAR 255

place（場所） VARCHAR 255

begin（開始日時）DATETIME

end（終了日時） DATETIME

* 画面の状態遷移図

・ログイン画面

ログインID：testid パスワード：testpass

テーブル が含まれている画像

自動的に生成された説明

・スケジュール確認画面（トップ画面）

スケジュール確認画面はログイン後に表示されるトップ画面となっている。scdataテーブルに登録されている要素を取り出し、テーブル形式で表示している。

また、「スケジュール登録画面」ボタンで登録画面へ遷移、「スケジュール確認画面」ボタンでトップ画面へ遷移する。

検索方法が３種類あり、内容、場所をワードで検索する方法、年月を選択して検索する方法、日付間で検索する方法がある。

テーブル

自動的に生成された説明

・スケジュール登録画面

「内容」「場所」「開始日時」「終了日時」を登録する。なお、どれか１つでも、入力がされていないと、エラーメッセージが表示される。

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, アプリケーション

自動的に生成された説明

・スケジュール登録確認画面

登録画面で入力した内容が表示される。

テーブル

自動的に生成された説明

・スケジュール登録完了画面

入力した内容がデータベースに登録できれば、登録完了と表示する。データベースにうまく登録できなかった場合は、登録失敗と表示される。

テキスト

自動的に生成された説明

・更新画面

更新したい内容を修正して、更新確認ボタンを押す。

テーブル

自動的に生成された説明

・更新確認画面

テーブル

自動的に生成された説明

・更新完了画面

テキスト

自動的に生成された説明

・削除確認画面

テーブル

自動的に生成された説明

・削除完了画面

テキスト

自動的に生成された説明

・内容、場所で検索

例：入力欄に「バ」の文字を入れて検索ボタンを押すと、内容か場所に一文字でも「バ」が入っているレコードを抽出することができる。

テーブル

自動的に生成された説明

・年月を選択して検索

例：2021-11を選択して検索ボタンを押すと、開始日時か終了日時が2021-11のレコードを抽出することができる。

テーブル

自動的に生成された説明

・日付間を選択して検索

例：2021-10-19から2021-11-17を選択して検索ボタン押すと、開始日時か終了日時が2021-10-19から2021-11-17の間のレコードを抽出することができる。

テーブル

自動的に生成された説明

* 目標

定められた要求仕様だけでなく、追加仕様である週間スケジュールの表示と、月間スケジュールの表示まで完成させたかった。

* 達成度

要求仕様と追加仕様の月間スケジュールの表示はうまく実装することができた

* 反省点

追加仕様の週間スケジュールの表示がうまくいかなかった。しかし、その補完として、日付間を選択して表示する機能を追加することができた。また、CSSなどを使ってページのデザインにも力を入れたかった。